

令和2年度 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 第4回 経営諮問会議 議事概要

日時：令和3年3月11日（木）14:00～16:30

場所：大阪産業技術研究所森之宮センター 大講堂

出席者：委員（アイウエオ順、敬称略）

一般社団法人大阪府技術協会 会長 岡野 忠弘

一般社団法人大阪工研協会 会長 奥野 和義

（委員長） 国立研究開発法人 産業技術総合研究所関西センター 所長 角口 勝彦

公立大学法人大阪 副理事長 辰巳砂 昌弘

大阪府・市特別参与 土屋 隆一郎

その他の出席者（敬称略）

大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課長補佐 寺浦 謙三

大阪市経済戦略局産業振興部産業振興課長代理 井場崎 昭則

（地独）大阪産業技術研究所

理事長 中許 昌美、副理事長 馬場広由己、理事 水越 朋之、理事 小野 大助

経営企画監 白川 信彦、経営企画監 中村 優三

研究管理監 櫻井 芳昭、研究管理監 千金 正也

経営企画部長 三浦 健一

冒頭令和2年12月10日に開催された第3回経営諮問会議の議事概要が確認された。

続いて、「第二期中期目標の骨子（案）について」大阪府より、「第二期中期計画骨子（案）について」法人から説明がなされた。

この説明に対し、委員より以下のような意見があった。

●前文について

- ・中期計画骨子の策定ポイントは、発展期に移るにしても、2つの異なる組織を統合してスタートし始めたところでもあり、人事や業務やガバナンスなど色々な面で、発展期に見合う運営基盤の整備が不可欠であると思う。
- ・中期目標前文の中では、法人運営について述べられているので、中期計画前文でも明文化して記載すべき。
- ・中期計画前文に第一期の成果が書かれているが、第一期で見た課題についても記載した上で、第二期では、それを踏まえた計画にしているという形にすればよいのではないか。

●「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」について

- ・3（2）大学との関連のところ、大阪公立大学とは設置者が同じという特徴を活かし、相互の交流を組織同士として、行っていけばよいと思う。

●「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」について

- ・運営基盤の整備について、法人は、組織体制すなわちハード面をベースに書いているが、運営基盤にはハ

- ード面だけでなくガバナンスの強化等ルールを含めたソフト面もあるので、この第2の項の運営基盤に係る記述を整理しつつ、ハード・ソフト両面での整備について記載することを考えたらよいのではないか。
- ・コロナ下だからこそできる組織の拡大、業務改善などについて、もっと記述があってよいのではないか。
- ・職員の育成のところで、研究実績を評価する際のデータ整備について、きれいな形で外部に見える化できればサービスにつながるのではないか。
- ・人事評価に関する記載が、評価する側の目線で書かれているので、被評価者の目線も入れた記載が必要ではないか。
- ・支援成果の発信として、YouTubeで動画を観て貰う取り組みなどの記載があってもよいと思う。

- 「第3 財務内容の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」、
「第9 その他業務運営に関する重要事項の目標を達成するためとるべき措置」、
「第10 地方独立行政法人大阪産業技術研究所の業務運営並びに財務及び会計に関する大阪府市規約第4条で定める事項」の3つについて
- ・内部統制やコンプライアンスやリスク管理や情報管理などの取り組みについて、他の機関がどのような整理の仕方をしているかを参考にしながら、書きぶりを検討すればよいのではないか。

本日の議論を踏まえ、第二期中期計画策定チームの方では、設置者が策定する第二期中期目標との間で齟齬が生じないよう、十分に協議しながら、第二期中期計画（案）の策定作業を進めることとなった。

最後に事務局より会議形式による経営諮問会議は、今回を最終とし、今後は、中期計画（案）ができ次第、個別にメール等で報告するとの提案を行い、委員から了承が得られた。

(以上)